総務企画委員会

「議会改革」「防犯対策」

10月20日・21日に京都府亀岡市と大阪府松原市を視察しました。

亀岡市

議会改革、議会活性化の取り組みの先進事例を学びました。

本会議・委員会のインターネット中継や議会フェイスブックページ、議会報告会（わがまちトーク）の開催など、開かれた議会の実現のため、情報発信を実施しています。

議会改革に対し情熱を持ったリーダーシップのもと、一丸となってまい進している姿に、自信も感じられました。

松原市

防犯対策事業として、主に防犯カメラの設置の経緯や効果について学びました。

防犯カメラに関しては、設置効果を明確にするために、設置場所を慎重に検討をする必要があると感じました。

また、松原市は大阪初、日本で8番目のセーフコミュニティ国際認証都市として、安心・安全のまちづくりを進めており、一戸一灯運動や交通安全マップなど、参考になる事業が多くありました。

視察後、防犯対策事業に関する提言書を武豊町長に提出しました。

■亀岡市での視察風景

文教厚生委員会

「介護予防」「健康マイレージ制度」

11月9日・10日に山梨県北杜市と静岡県袋井市・森町を視察しました。

北杜市

予防給付を総合事業に移行する必要性から、すでに制度移行した介護予防事業を学びました。

配食サービスに合わせた見守り事業のほか、「高齢者の居場所づくり」「公民館カフェ」などは、自宅を開放しているところもあり、広大な行政面積で、行政では対応できない点を住民が支える仕組みづくりを学びました。

袋井市

健康な市民へ還元する「健康マイレージ制度」が導入され、自身で登録した簡単な運動や、健診を受けた際のポイント（1ポイント＝2円）を、市内店舗の割引や、小中学校へ寄付できる制度で、子どもたちの目標に、家族と食事をしたか、朝食を食べたかなど、食育・徳育も対象となっています。

健康予防事業のひとつとして、有効な制度を学びました。

森町

「望月プラザ」で健康福祉の観点から温浴施設の見学をしました。

人口18，000人の自治体で、一日平均100人の利用者数があり、66畳の無料休憩室の舞台には、カラオケセットが常設され、町民交流スペースとして活用されています。

限られた施設で利用者の満足度をあげるための各種施策を学びました。

■袋井市での視察風景

建設経済委員会

「空き家バンク制度」「公民連携のまちづくり」

11月18日・19日に岩手県盛岡市と紫波町を視察しました。

盛岡市

高齢化が急速に進んだことにより空き家が増加し、平成24年より「空き家バンク制度」を実施しています。

空き家バンクとは、空き家の情報提供を行い、提供者と利用希望者をマッチングさせ、活用を促進する制度です。

制度の実施から3年が経ちましたが、提供者と利用希望者の要望が合わず、空き家を利用してもらえない現状があります。

原因や今後の課題について学ぶことができ、本町の空き家対策を検討するにあたり参考となりました。

紫波町

公民連携手法による駅前開発事業を学びました。

駅前の広大なエリアに、民間を呼び込み、公費を抑えながら、官民施設の整備や開発を進め、年間70万人が訪れるエリアを形成しています。

魅力ある地域の形成や、公民連携による事業の進め方について、参考になりました。

■紫波町での視察風景

議会だより特別委員会

「住民参加企画」

10月28日・29日に京都府精華町と久御山町を視察しました。

精華町

第29回町村議会広報全国大会コンクールにおいて、奨励賞（企画・構成部門）を受賞されました。

表紙の写真を町内の写真クラブに依頼し、町の美しい風景が使われていたり、連載「街をつくる人」は、住民のページとしていました。

子どもたちの作品を掲載する「ギャラリー華」など、住民と議員が協力して作られている議会だよりでした。

久御山町

第28回町村議会広報全国コンクールにおいて、表紙フォトグランプリ賞を受賞されました。

全委員が表紙の写真を撮り、その中から選考をするという熱心さで、躍動感あふれる写真に感銘を受けました。

表紙の題字「くみやま」は町内小学校1年生より募集し、採用された児童に表彰状を送るなど、住民とのコミュニケーションがとられていました。

読んでいただける議会だよりを目指し、武豊町でも住民参加企画を提案していきたいと考えています。

■受賞した議会だより